



アンパンマンショーを楽しむ子どもたち—徳島大学病院

アンパンマン 患者勇気づける

徳大病院でショー

病気に闘っている子どもたちを元気づけようと、徳島大学病院（徳島市蔵本町2）で27日、人気キャラクター・アンパンマンのショーがあり、親子約30人が楽しいひとときを過ごした。

病院小児科には0歳から20歳までの40人が入院している。小児科のプレ

イルームにアンパンマンやバイキンマンなど、お待ちかねのキャラクターが次々と登場すると、子どもたちから大きな歓声が上がった。入院したばかりという6歳の女の子は「大好きなアンパンマンを近くで見られて楽しかった」と話した。

ショーは患者支援団体・財団法人がんの子供を守る会（のぞみ財団、事務局・東京）が主催した。（大塚康代）